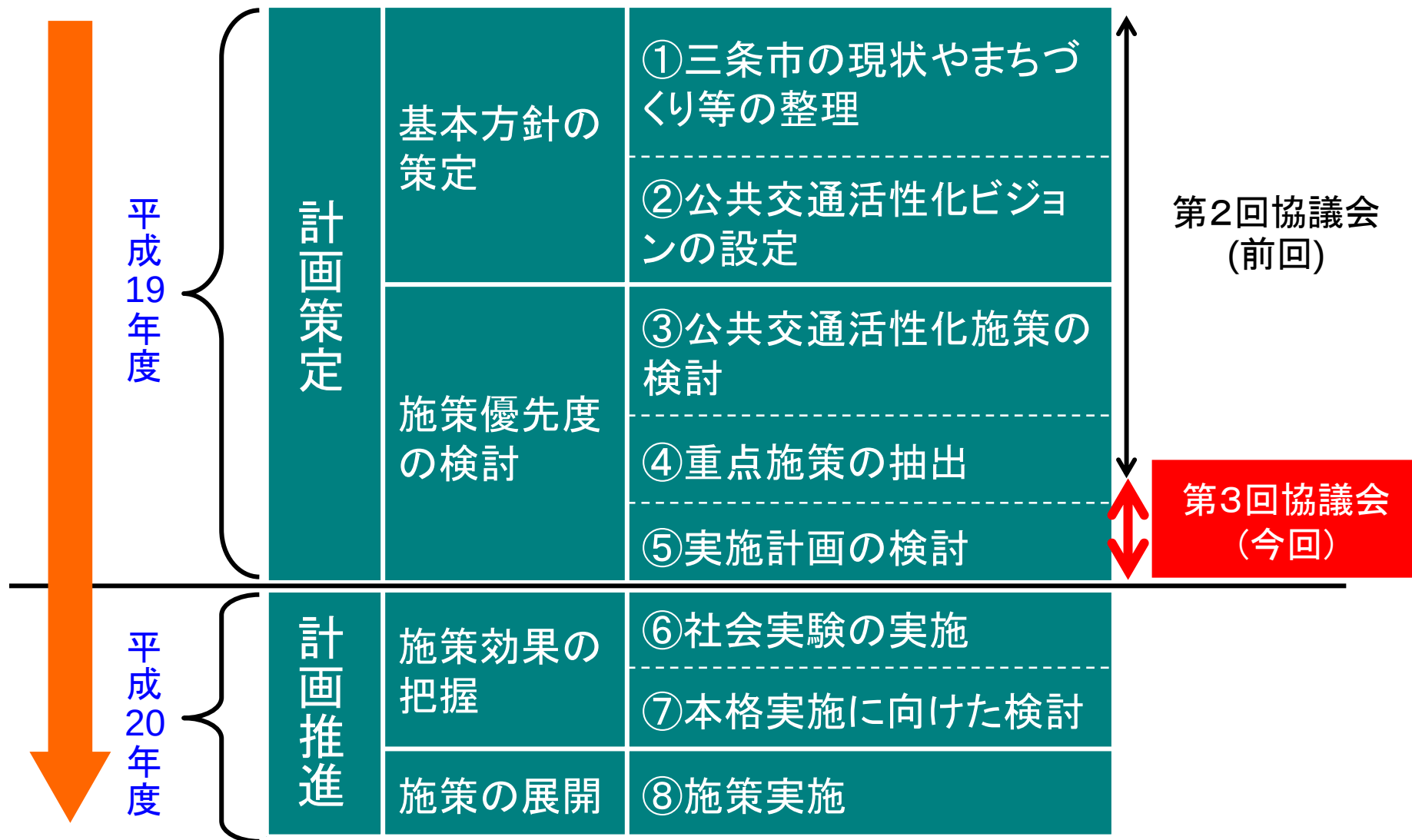


## 三条市地域公共交通総合連携計画（案）

- ・重点施策の実施方針
- ・社会実験計画

# 協議会の検討経過



# 重点施策の抽出

## 公共交通活性化のための「25の施策」

### (1) 課題改善の緊急性が高い施策

\* 計画書p69

⇒ 交通空白地域・高齢化社会問題・地域内格差への対応

### (2) 市民ニーズが高い施策

⇒ 通院・通学・買い物に便利な公共交通

### (3) 公共交通サービスの維持・向上に関する施策

⇒ 一人ひとりが自発的に公共交通を利用し維持しようとする意識の醸成

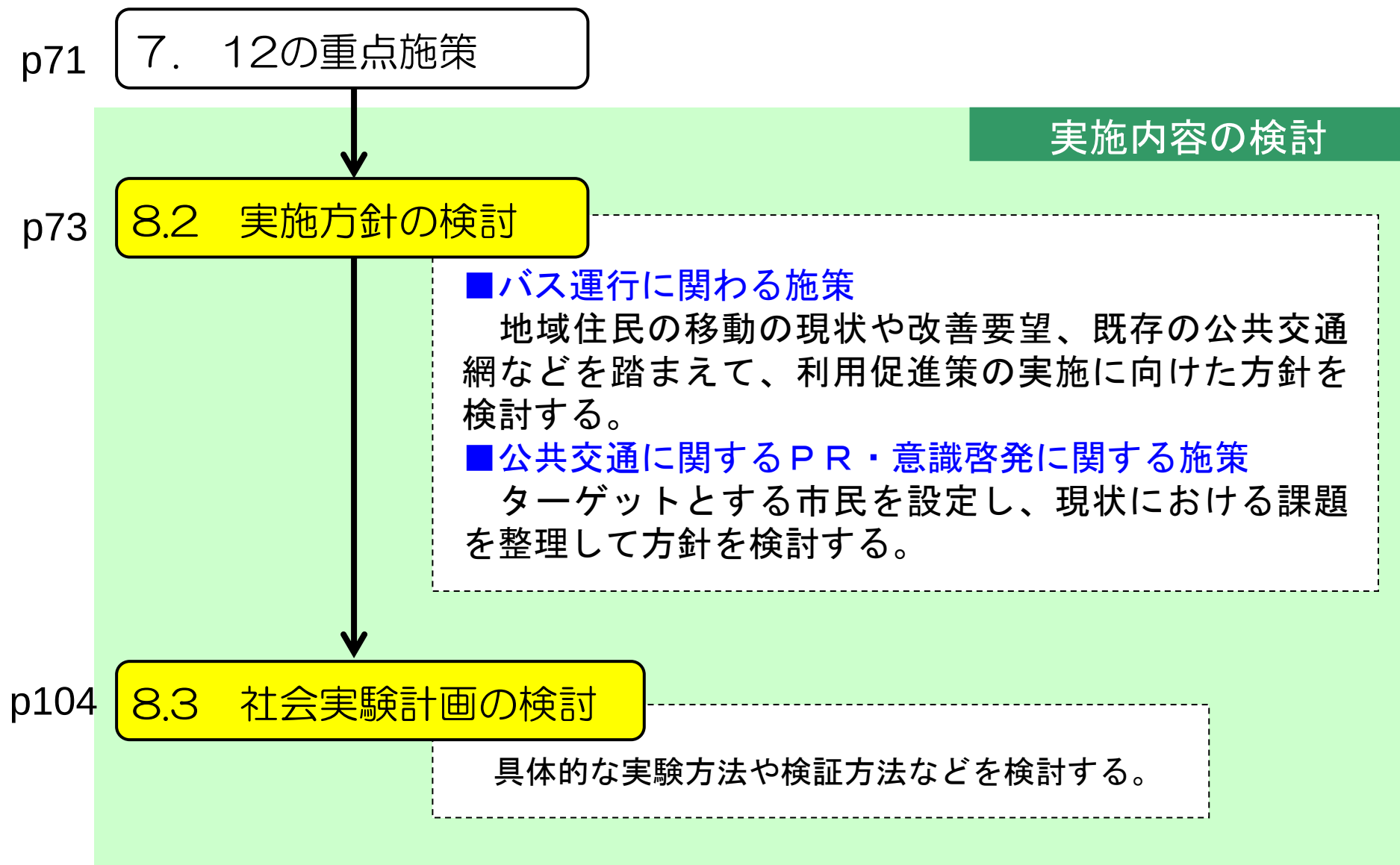
### (4) 短期間で実施可能な施策

⇒ 既存施設・路線や実施中の施策との連携の可能性

## 「12の重点施策」

\* 計画書p71

# 8. 施策実施内容の検討 p72



## 8.2 実施方針

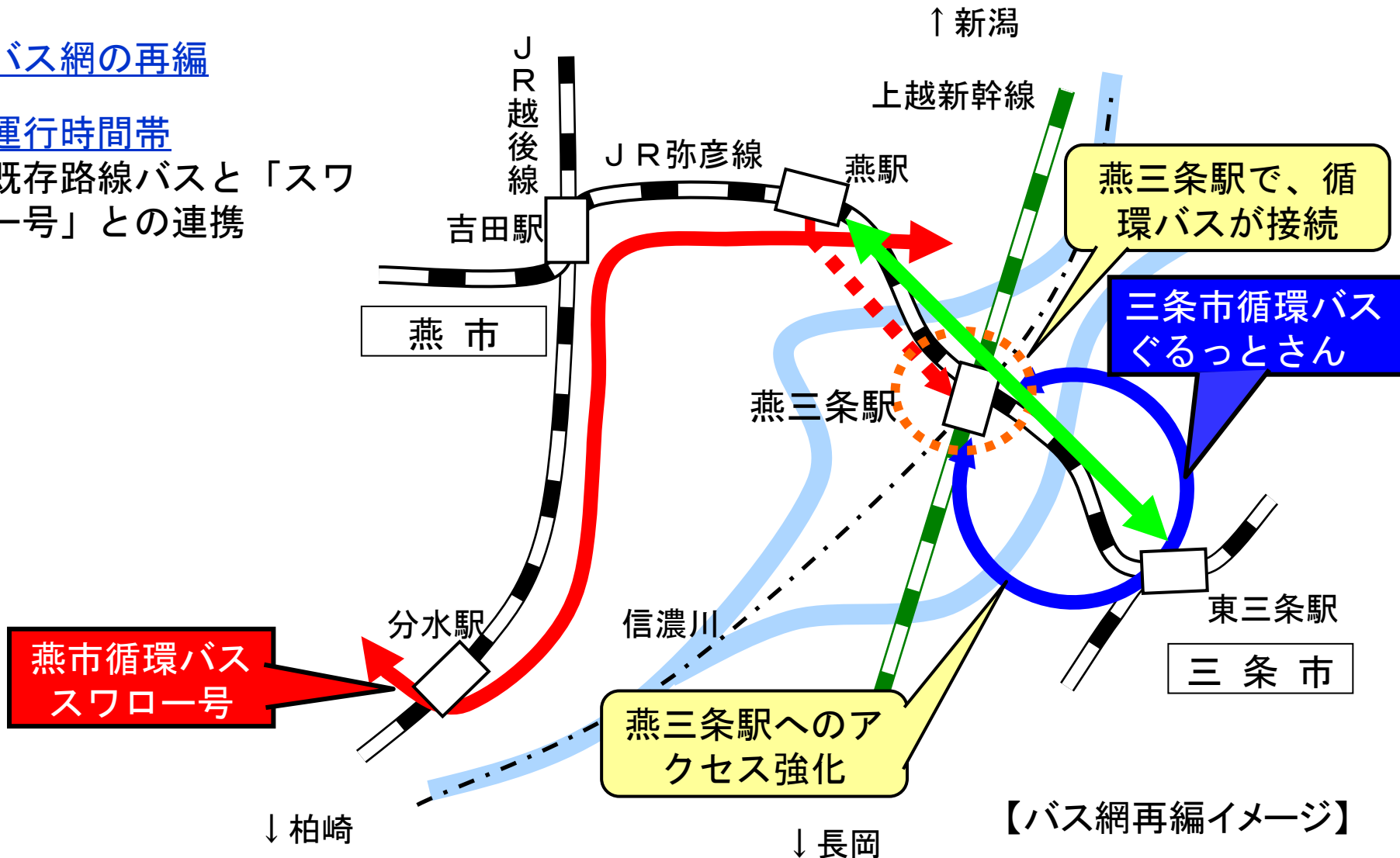
**(p73～103)**

# 施策1-4 三条～燕間路線バスの燕市吉田方面への連携強化

## バス網の再編

## 運行時間帯

既存路線バスと「スワロー号」との連携



【バス網再編イメージ】

## 施策２－３ 高速バス利用のためのパークアンドライド用駐車場の整備

### (1) 三条競馬場跡地を利用した駐車スペースの確保

#### ■候補地

三条競馬場跡地周辺 （※河川協議・新潟国体との調整）

#### ■駐車場料金

管理方針を検討し、他の高速バス利用のための駐車場料金を考慮して決定

#### ■高速バス運賃割引

三条燕ⅠC周辺バス停からの利用料金と同程度にするなど、利用インセンティブを与える

### (2) 三条燕バス停周辺における駐車スペースの確保

#### ■候補地

三条燕ⅠCバス停周辺の商業施設

### (3) 路上駐車を取り締まり強化と利用ルールの徹底

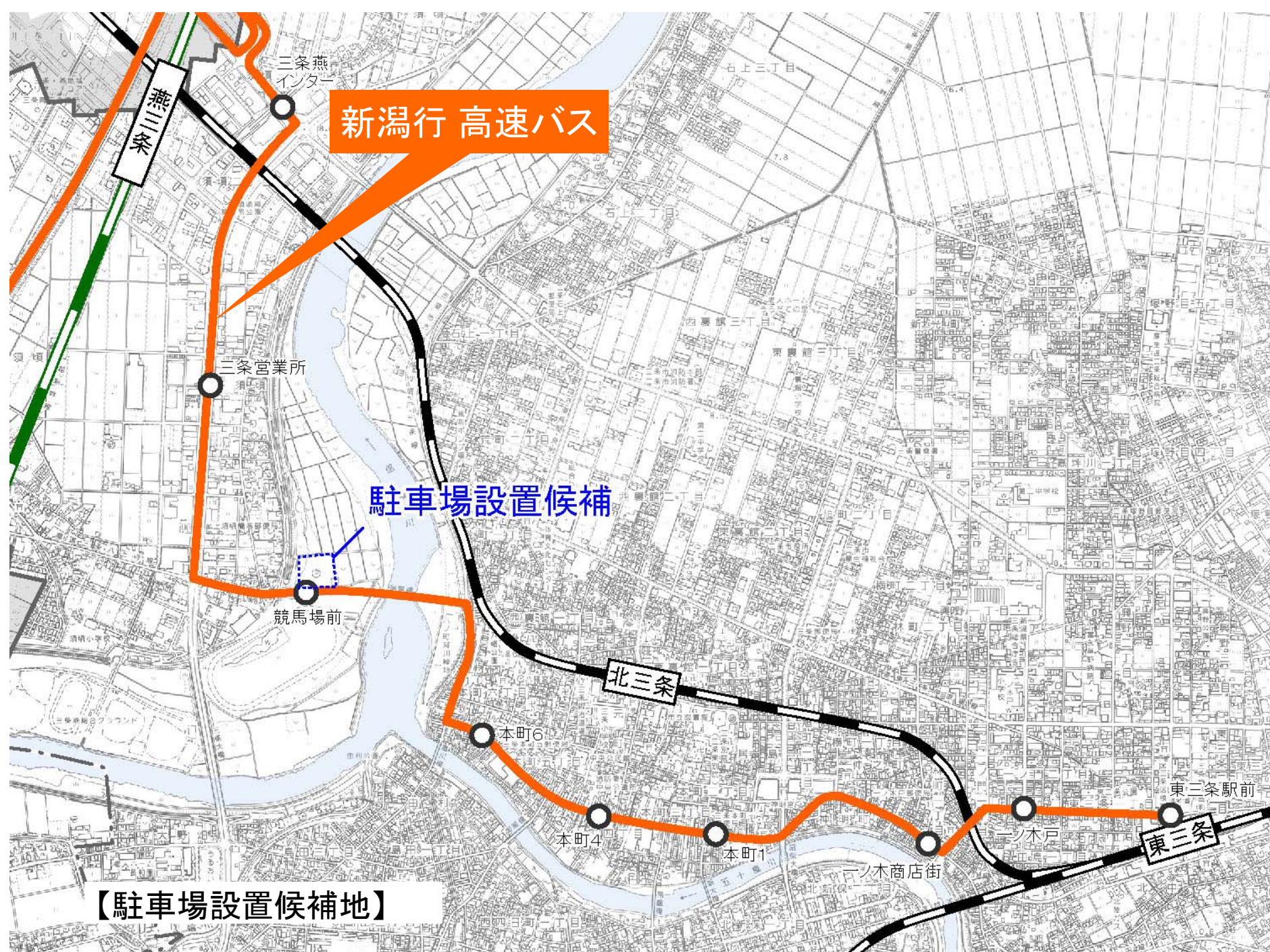
駐車場の確保に合わせて、高速道路周辺の路上駐車を取り締まりを強化



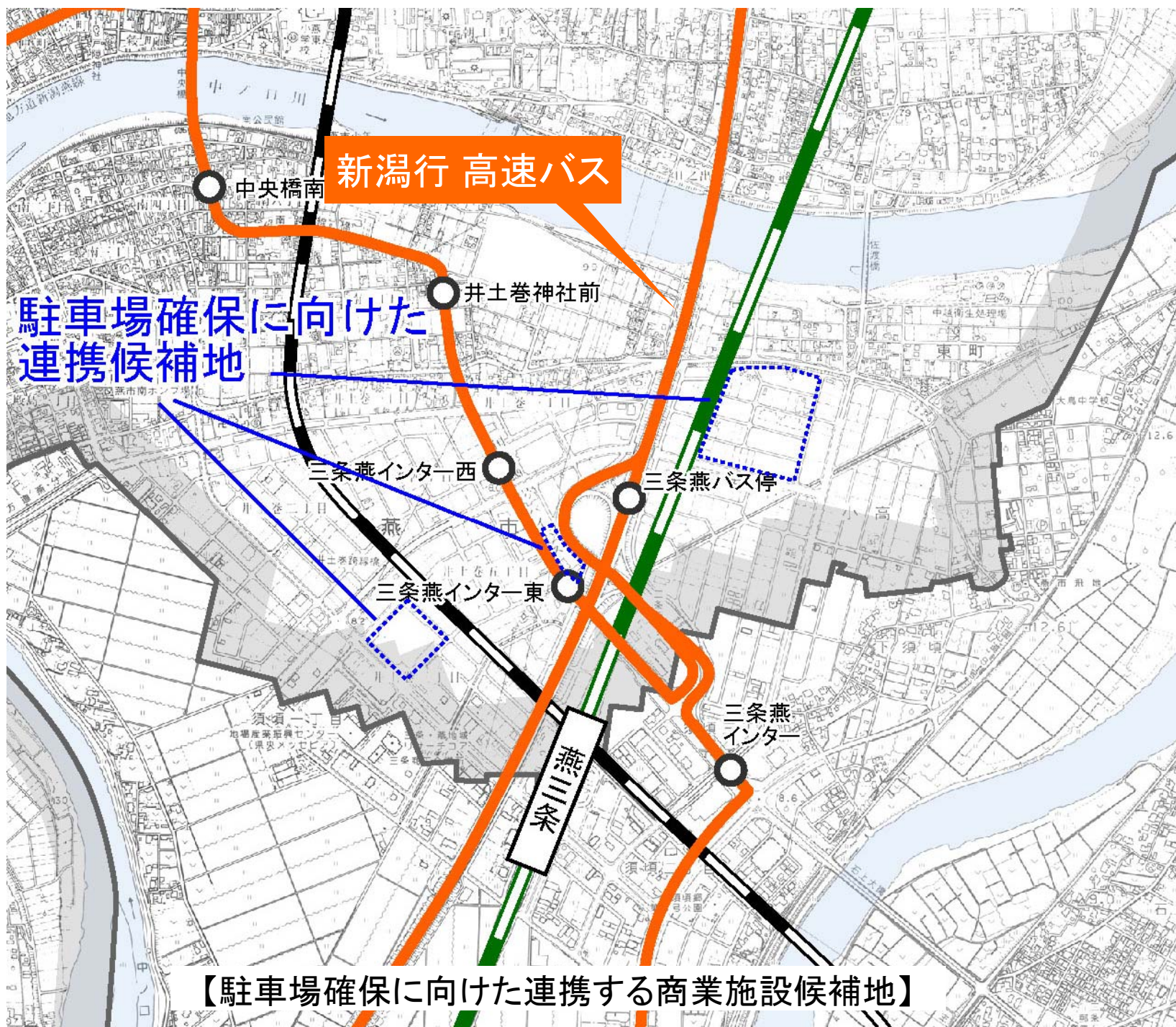
# 新潟行 高速バス

## 駐車場設置候補

### 【駐車場設置候補地】







【駐車場確保に向けた連携する商業施設候補地】

## 施策２－４ 観光客対応のデマンド型バス(または乗合タクシー)の運行 観光企画チケットの導入

### (1)観光客・イベント対応のデマンド型公共交通の運行

#### ■運行形態（タクシー事業者の既存サービス活用）

- ・ 起終点：燕三条駅、東三条駅
- ・ 周遊エリア：三条市、燕市、弥彦村、長岡市寺泊の主要な観光地
- ・ 運行方法：テーマに合わせ周遊ルートを設定  
イベントに合わせバスを運行  
時刻を定め、予約があった便を運行

#### ■観光ナビゲートサービス

- ・ 観光マップ、ガイドブック作成、歴史・文化案内人の配置

### (2)観光企画チケットの導入

■対象とする公共交通：三条市、燕市、弥彦村、長岡市寺泊地区の主要な観光地をむすぶ公共交通（鉄道・バス）

■チケットの内容：公共交通料金と施設利用券などとのセット

### (3)PR活動の展開

- ・ インターネットや観光雑誌を活用し、観光地の情報発信に合わせて公共交通施策をPR





- 施策3-4
- ・買物利便性の向上に向けた主要駅と市街地商店街および大規模小売店舗を結ぶバスの運行
  - ・商業施設と連携した誘客チケットの導入

### (1) 買物利便性の向上に向けたバス運行

#### ■運行ルート・運行方法

- ・定時定路線型の運行
- ・東三条駅と三条市街商店街や市中心部の主要な商業施設を結ぶルートを設定

#### ■運行時間帯

経由する商業施設の営業時間に対応

#### ■運行頻度

- ・市民の買物時間ニーズを、調査によりきめ細かく把握
- ・買物時間に対応した高い運行頻度を設定

### (2) 商業施設と連携した誘客チケットの導入

- ・バス利用者に対する買物割引サービスの導入
- ・買物客のバス運賃割引サービスの導入



# 凡 例

ルート案



主な商業施設

(店舗面積5000m<sup>2</sup>以上の大規模小売店舗)



商店街



県央サティ

三  
条  
線

JR  
叡  
彦  
線

ジャスコ三条店

北  
三  
条

パ  
ル  
ム

東  
三  
条

【運行ルート(案)】

三条市街地商店街



## 施策4-3 高齢者用デマンド型バス(または乗合タクシー)の運行

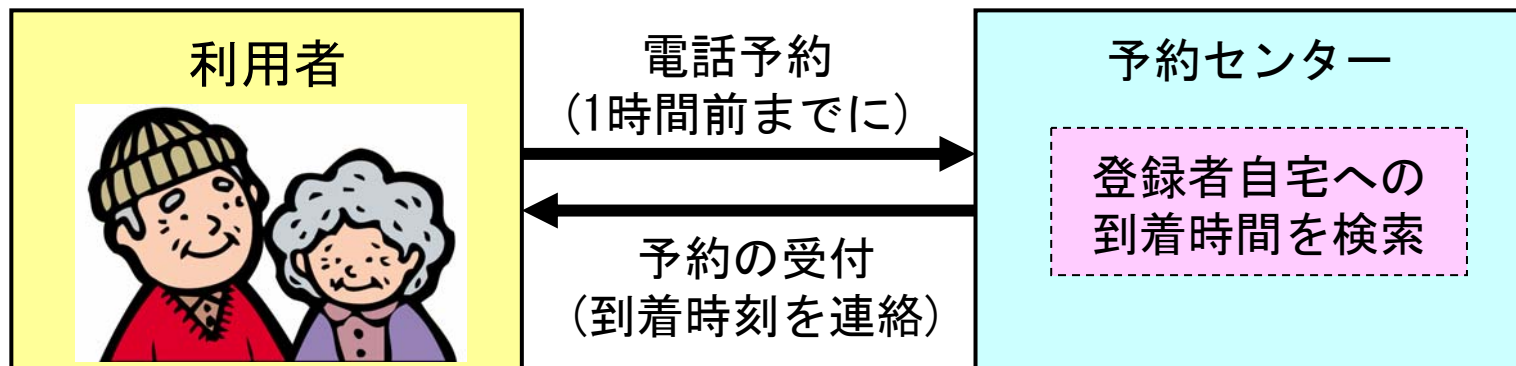
### ■利用対象

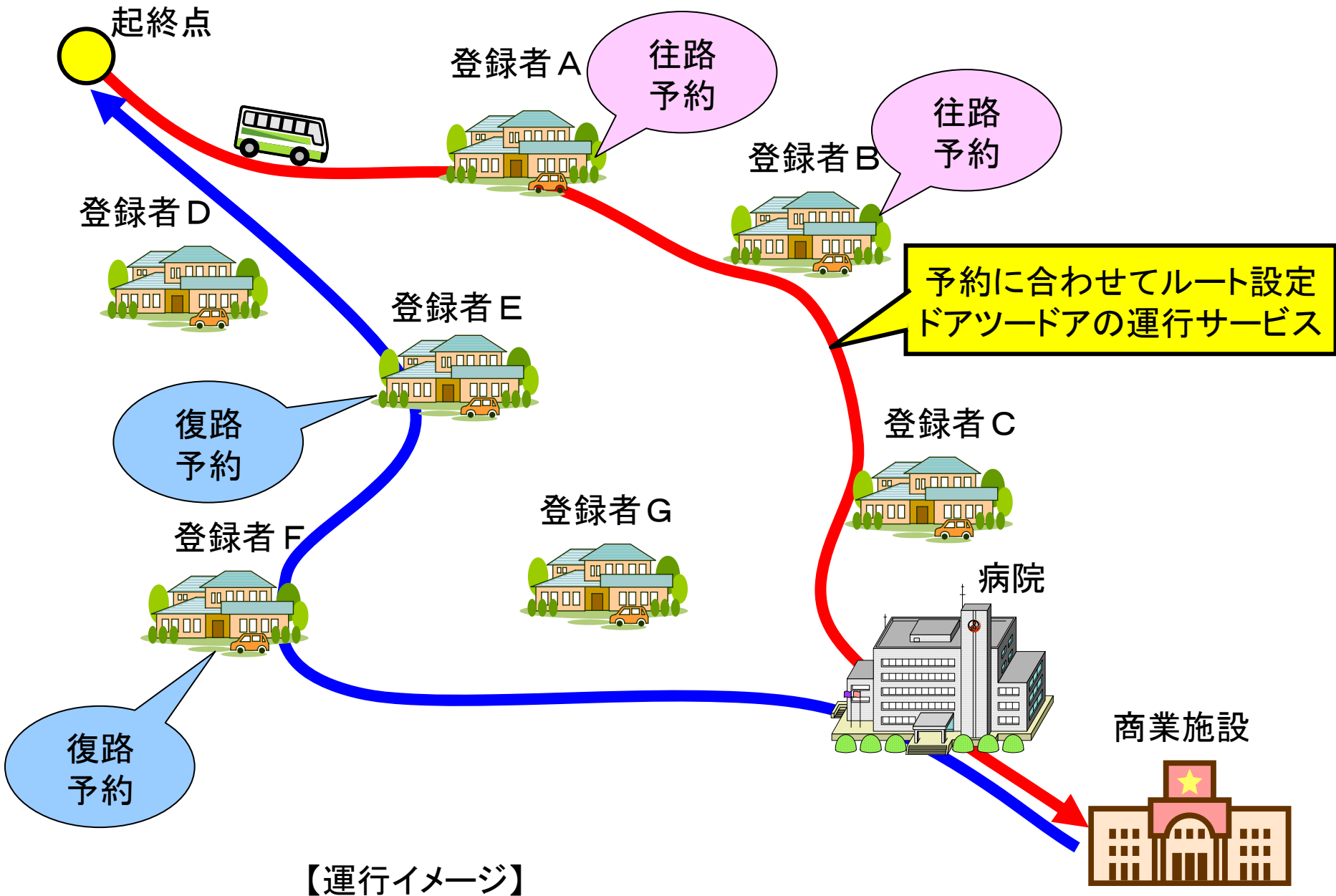
- ・ 下田地区、栄地区の運転できない、または運転が困難な方を対象
- ・ 登録会員制

### ■運行方法、運行頻度

- ・ 予約があった便のみ運行するデマンド方式
- ・ 電話による予約
- ・ 起終点のみ設定し、自由な経路で自宅前まで送迎→ドアツードア運行
- ・ 30分～1時間間隔の時刻表設定
- ・ 目的地は、利用ニーズ調査によりニーズの高い施設を設定

### 【デマンド予約システムイメージ】





## 施策4-4 地域内における学生用デマンド型バス (または乗合タクシー)の運行

### (1) 小中学生に対応したデマンドバス(または乗合タクシー)の運行

#### ■対象とする学校

- ・ 登下校距離が他に比べ長く、スクールバスを運行していない学校区  
→ 大島小学校、須頃小学校、大島中学校、  
井栗小学校、西鱈田小学校、大崎小学校

#### ■運行ルート

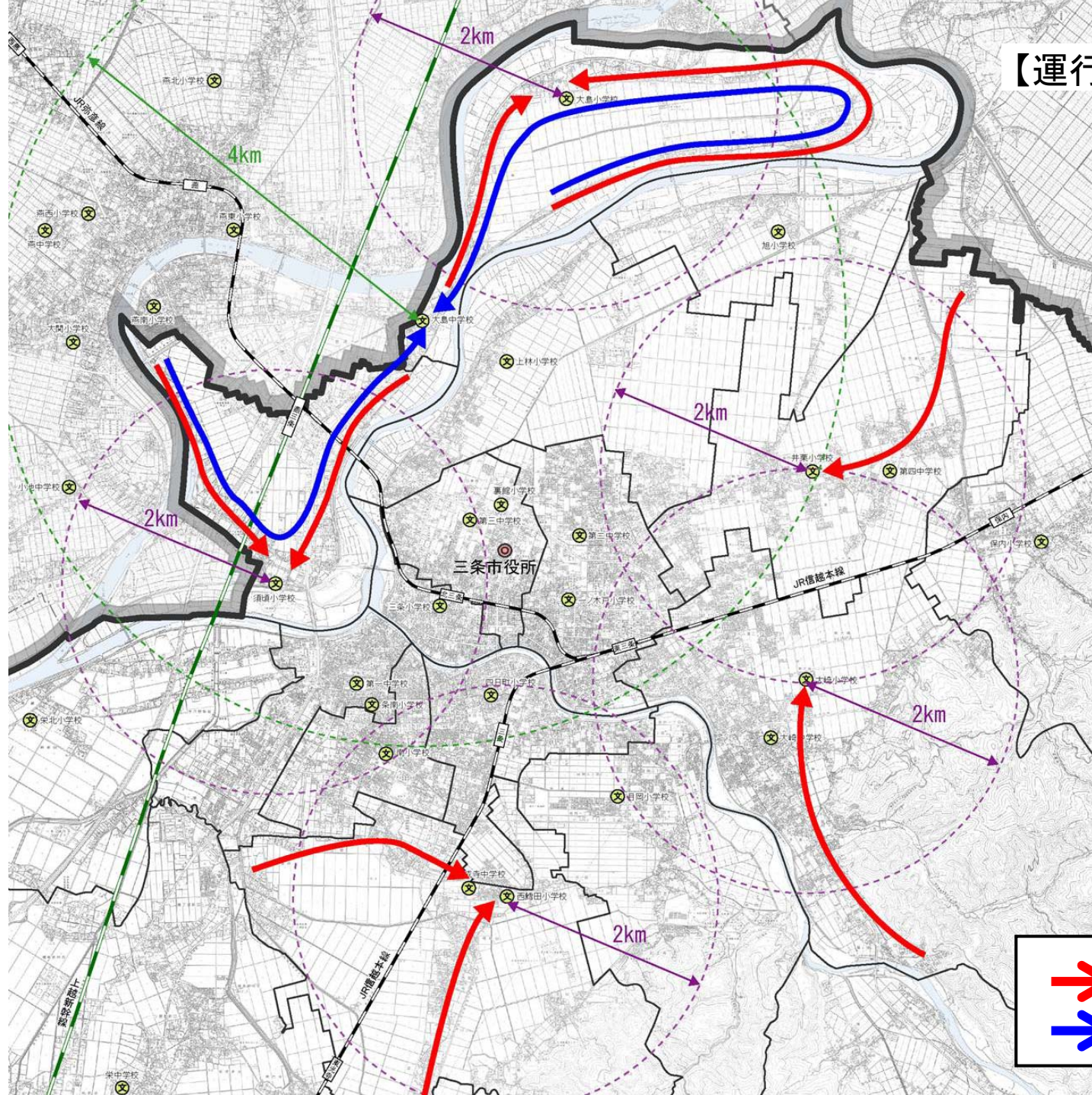
- ・ 集落を巡回しながら、小中学校へ向かうルートを設定 (p88参照)

#### ■運行方法・運行期間・運行時間帯

- ・ 通年運行 (→休日にも対応)
- ・ デマンドと定時定路線型の組み合わせによる運行  
→ 平日の朝登校時、夕方下校時は定時定路線型、その他はデマンド型
- ・ 学校授業時間や学校行事に合わせて、運行時刻を設定



→ : 小学生対応  
→ : 中学生対応



## (2) 高校生に対応したデマンドバス(または乗合タクシー)の運行

### ■運行ルート

(p90参照)

- ・ 栄、下田地区から地区外に通学する高校生
- ・ 各地区の運行頻度が高い公共交通軸にアクセスするルートを設定  
栄地区：JR信越本線、下田地区：東三条駅～八木ヶ鼻温泉線バス

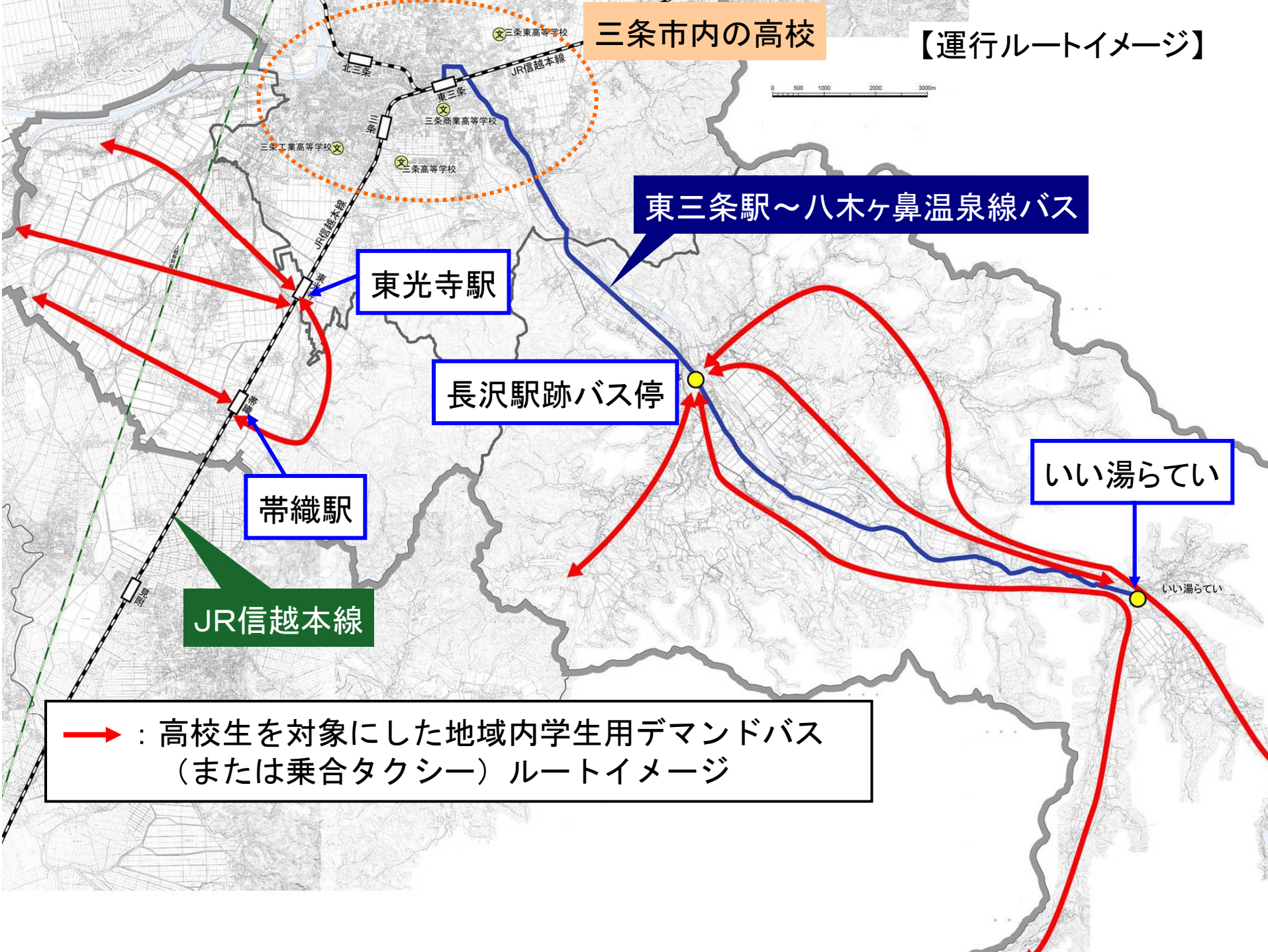
### ■運行方法

- ・ デマンドと定時定路線型の組み合わせによる運行  
→ 平日の朝登校時、夕方下校時は定時定路線型、その他はデマンド型



## 三条市内の高校

## 【運行ルートイメージ】





## 施策4ー5 下田地区～市中心部間の通学専用バスの運行

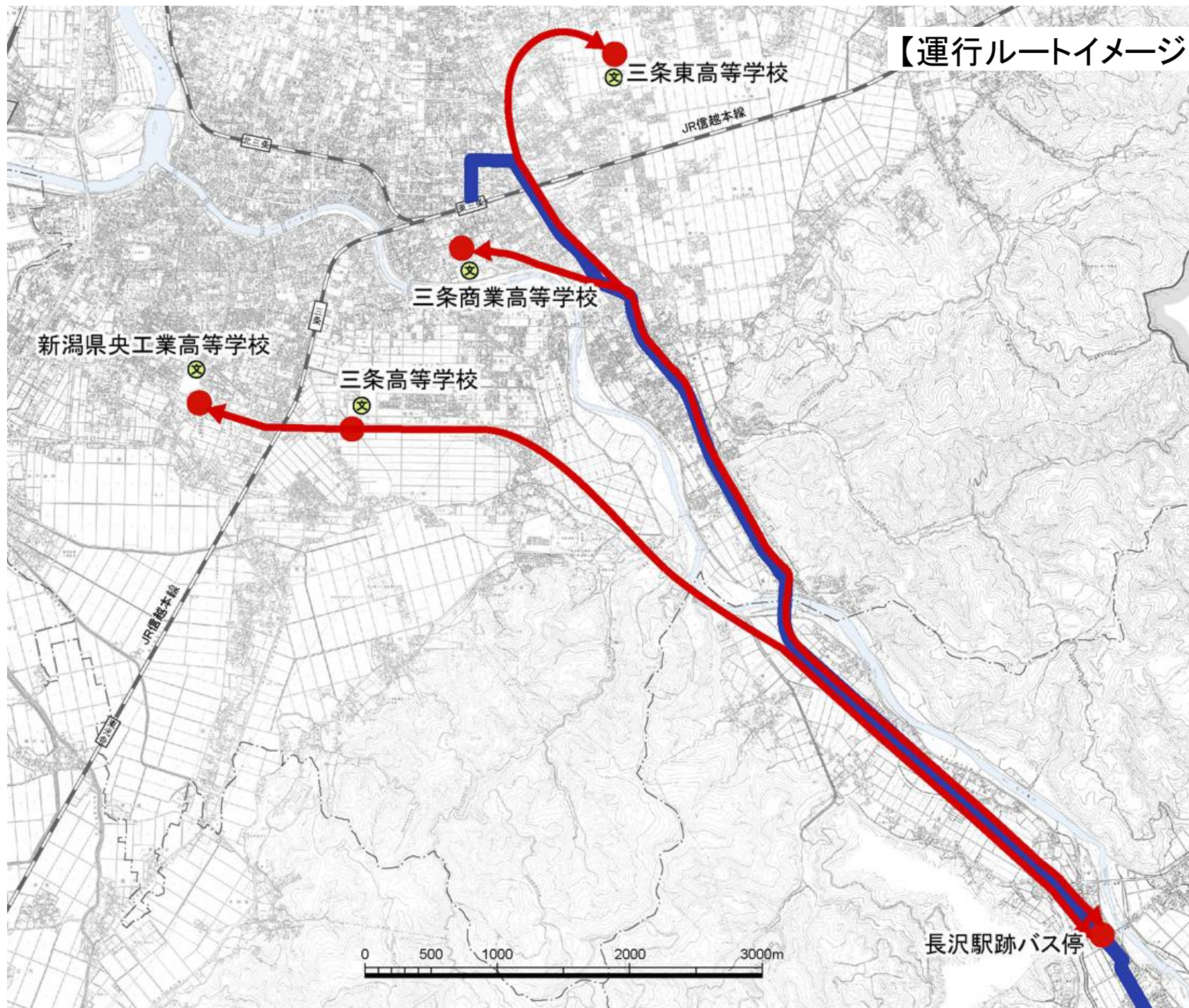
### ■運行方法・運行ルート

- ・ 定時定路線型運行
- ・ 下田地区の長沢駅跡バス停～市中心部の高校4校へノンストップで結ぶ

### ■運行時刻

- ・ 始業時刻や下校時刻に配慮した時刻設定
- ・ 長沢駅跡での他路線との接続に配慮

【運行ルートイメージ】



## 施策4-6 循環バス「ぐるっとさん」の運行形態の見直し

### 《運行見直しの考え方》

|      | 現状の問題点・課題                                   |                | 見直しの考え方                                |
|------|---------------------------------------------|----------------|----------------------------------------|
| Aコース | ●駅や高校など、三条市中心部の主要な施設を経由しているが、日常的に学生の利用が少ない。 | ●運行本数の改善要望が多い。 | ●学生に対応した運行サービス・利用環境に改善                 |
| Bコース |                                             |                |                                        |
| 北コース | ●大きく迂回するルートのため、目的地までの所要時間がかかる。              |                | ●地域ごとの住民が主体となった代替バスの運行を検討<br>⇒施策5-4で検討 |
| 南コース |                                             |                |                                        |



## (1) 運行形態の見直し (Aコース、Bコース)

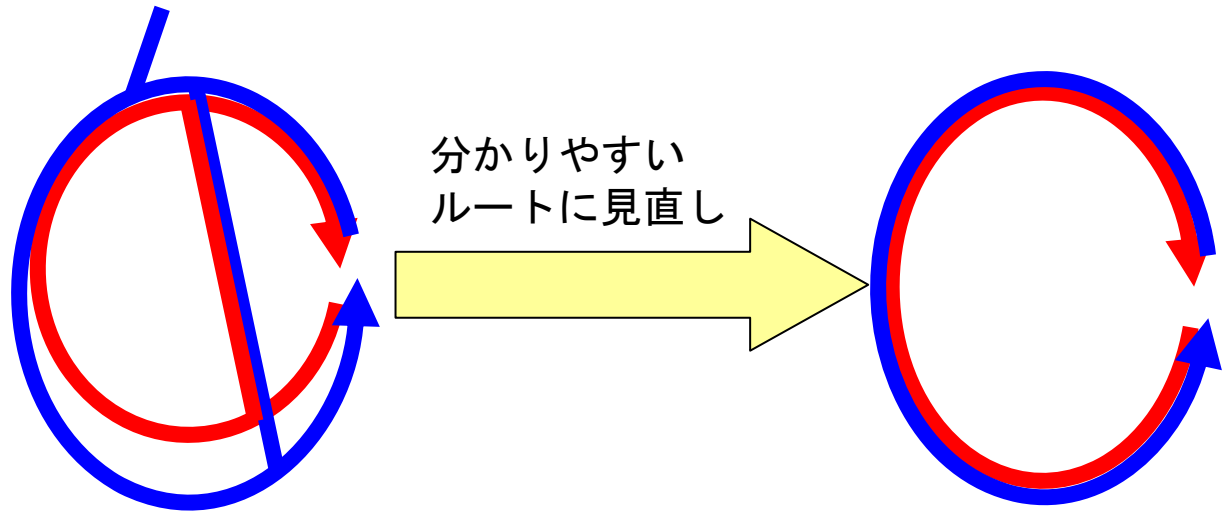
### ■運行本数・運行時刻の見直し

- ・通学、帰宅時間帯の運行本数を増強

### ■運行ルート

- ・分かりやすい運行ルートへの見直し  
→ A・Bコースを同一コースに設定
- ・新たな運行ルートの設定  
→ 燕三条駅を経由する路線を新設

### 【ルート見直しイメージ】



分かりにくい・・・

- ・周り方によって、ルートが異なる。
- ・時間帯によってルートが異なる

分かりやすい！

- ・常に両方向とも同一のルートを経由

燕三条駅周辺

燕三条駅を結ぶ  
循環バスを設定



【新たな運行ルートイメージ】

## (2) 定期券の導入

- ・ 現状の割引サービスは回数券のみ  
→ 定期券を導入することで、固定客を確保
- ・ 環境定期券制度の導入  
→ 定期券所持者と同時に利用することで、家族の利用料金を割り引く制度

### 【環境定期券制度（伊予鉄道の事例）】

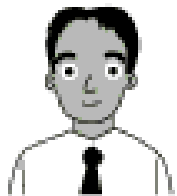
例えば

お父さんが  
通勤定期をお持ちの場合  
**通勤定期券所持者**  
お父さんは券面表示区間＝無料  
券面表示区間外＝100円

+

いっしょに  
ご利用頂くと！

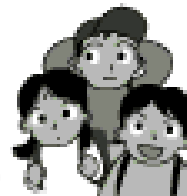
家族揃って、  
お得な環境定期券を  
使いましょう！



お父さん  
**無料** (券面表示区間)



お母さん  
**100円**  
(通常150円)



子供さん  
小学生 **50円**  
(通常80円)



お婆さん  
**100円**  
(通常150円)

資料) 伊予鉄道株式会社HP



## 施策5-1 公共交通に関するPR

### ■公共交通マップの作成

- ・利用したいけど、利用の仕方がわからない市民をターゲット
- ・地区、目的別に必要最小限の情報提供

### ■公共交通総合案内サービスの充実

- ・バス、鉄道に関する情報サービスの連携により、総合的な情報サービスを充実させる。
- ・インターネットなどの新たな情報提供システムの構築

〔公共交通利用に関する疑問〕

- ・〇〇に行きたいのだが、どのバスを乗ればよいのか？ など

〔公共交通総合案内サービスの充実の考え方〕



利用

情報収集

〔公共交通総合案内サービスの充実〕

既存の案内所

- ・多様な公共交通の情報案内

インターネット

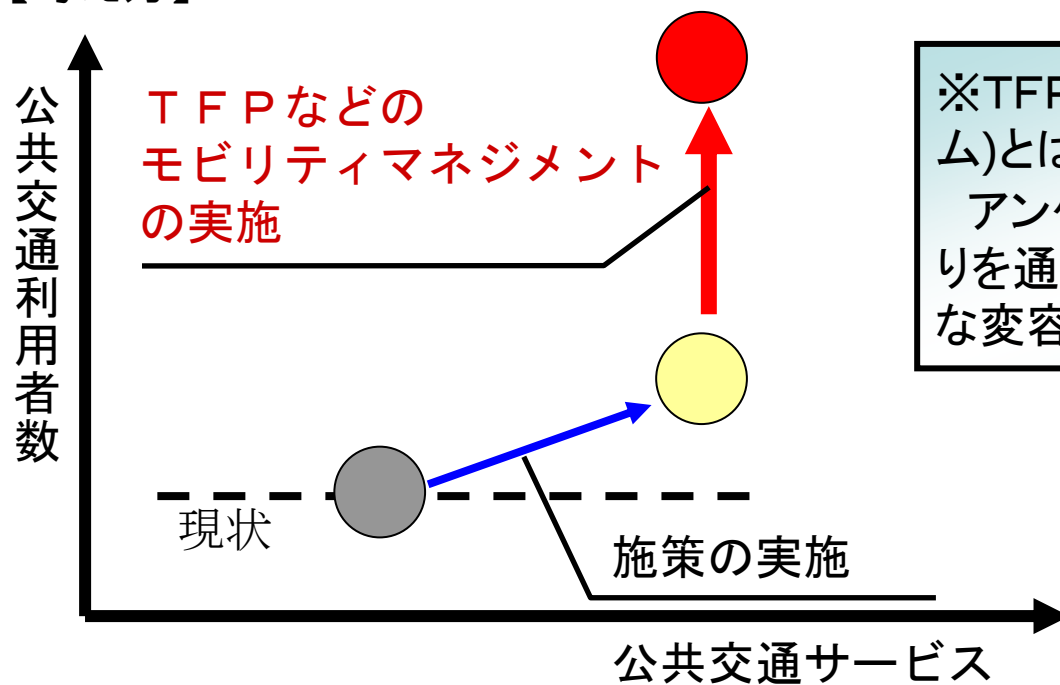
- ・公共交通総合案内検索システム

## 施策5-2 モビリティマネジメントの実施

### ■施策と連動したモビリティマネジメントの実施

- ・ 利便性向上に向けた公共交通施策の実施合わせて、TFP等を実施

#### 【考え方】



※TFP(トラベル・フィードバック・プログラム)とは

アンケートなど複数回の個別的なやりとりを通じて、対象者の交通行動の自発的な変容を期待する施策

### ■その他実施案

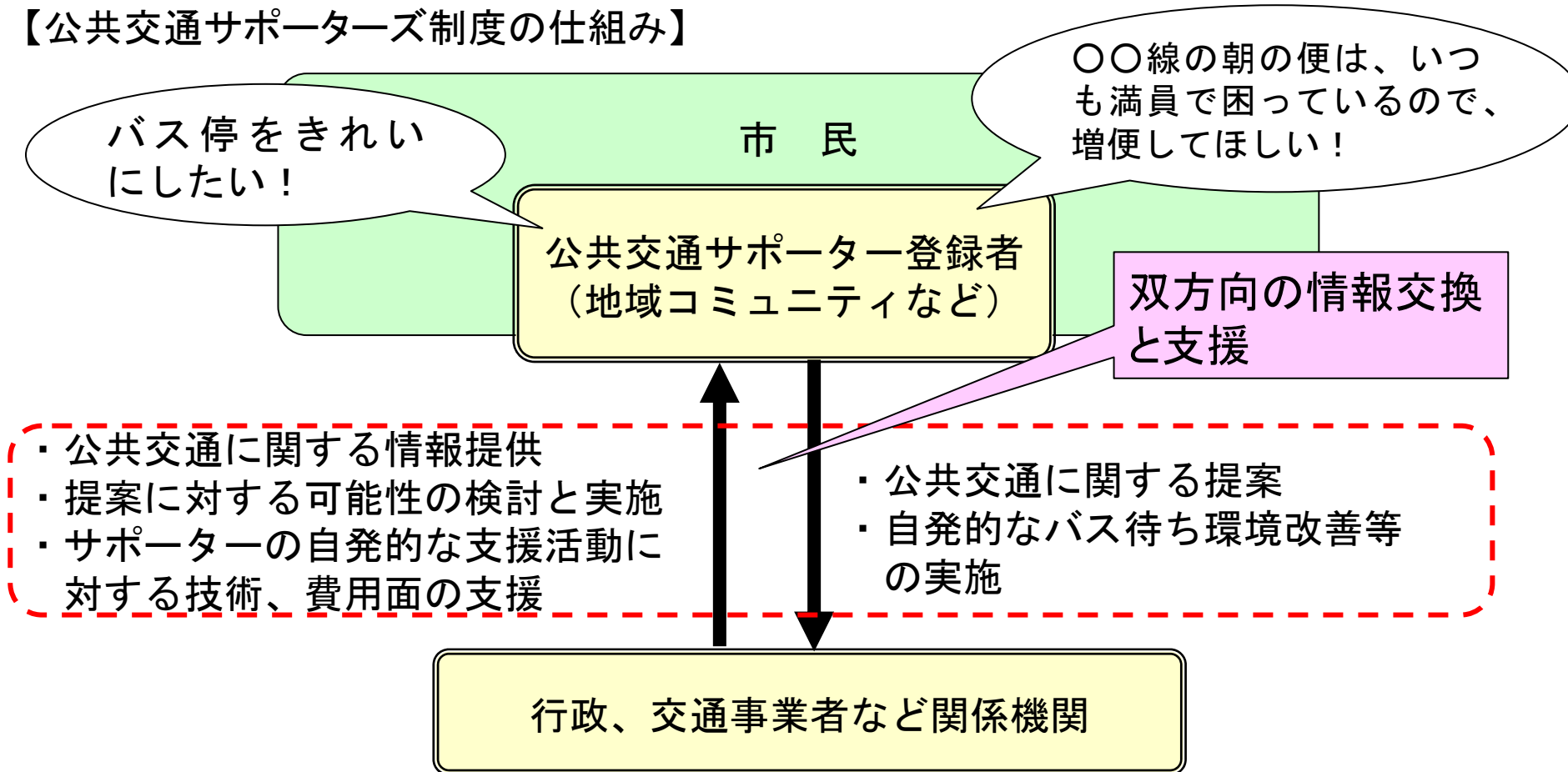
- ・ 公共交通に関するイベント(シンポジウムなど)の開催
- ・ 車の利用を控えるノーマイカーデーを実施
- ・ 学校におけるモビリティマネジメントの実施 など

## 施策5-3 公共交通を支える住民組織への支援

### ■公共交通サポーターの募集

- ・ サポーター(市民)と運行に関わる関係機関との双方向の情報交換と支援に向けた仕組みづくり

#### 【公共交通サポーターズ制度の仕組み】





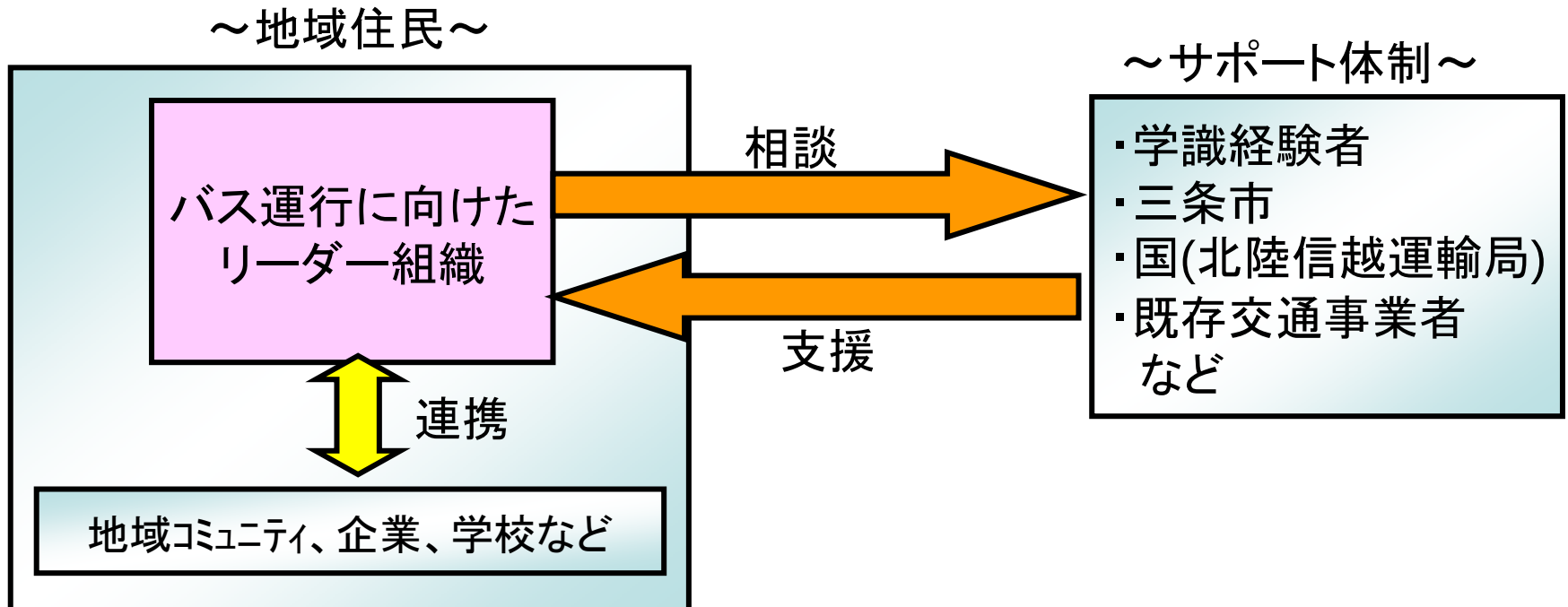
## 施策5-4 地域住民が主体(運営・運行計画)となった コミュニティバスの運行

### ■対象地区

- ・三条地区「ぐるっとさん」の沿線地域や公共交通空白地域

### ■住民がバスを走らせる仕組みづくり

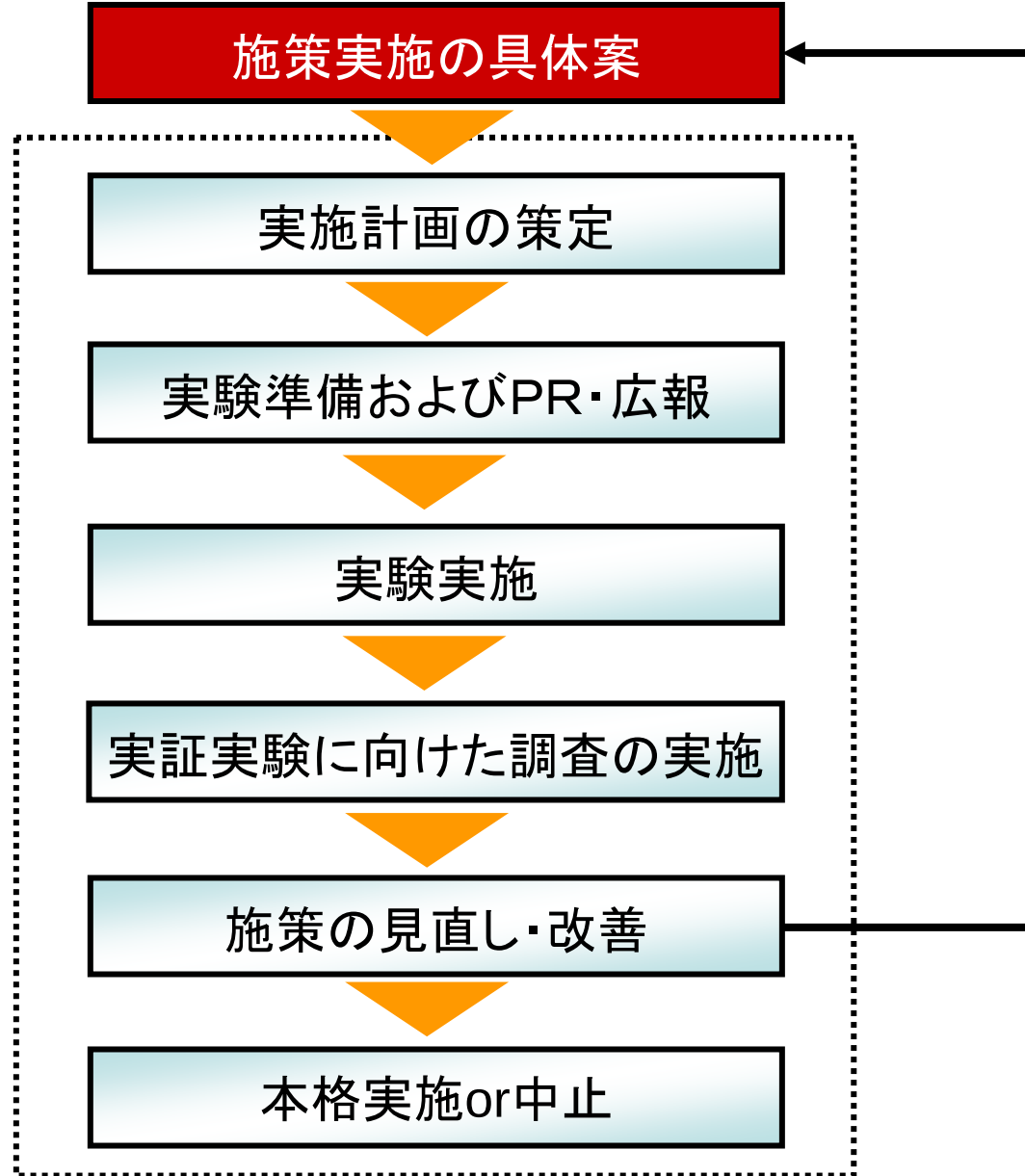
#### 【連携サポート体制】



## 8.3 社会実験計画

(p104~112)

## 8.3.2社会実験の流れ p104

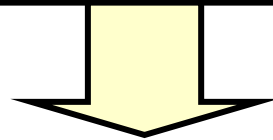




# 社会実験施策の抽出

## 抽出の視点

- 課題解決の緊急性が高い項目に関わる施策
- 運行規模が大きく、恒久的な実施にあたって、実証運行による採算性などの検証が必要な施策
- 重点施策の実施方針



社会実験1 下田地区における公共交通利便性向上実験

社会実験2 循環バス「ぐるっとさん」の利便性向上実験

社会実験3 井栗地区における住民バス運行実験

## 社会実験1 下田地区における公共交通利便性向上実験

### 【目的】

下田地区における、高齢者・学生の生活交通確保と公共交通利便性の向上を図る。

### 【内容】

#### ○施策4－3

高齢者に対応した“ドアツードア”デマンド乗合タクシー

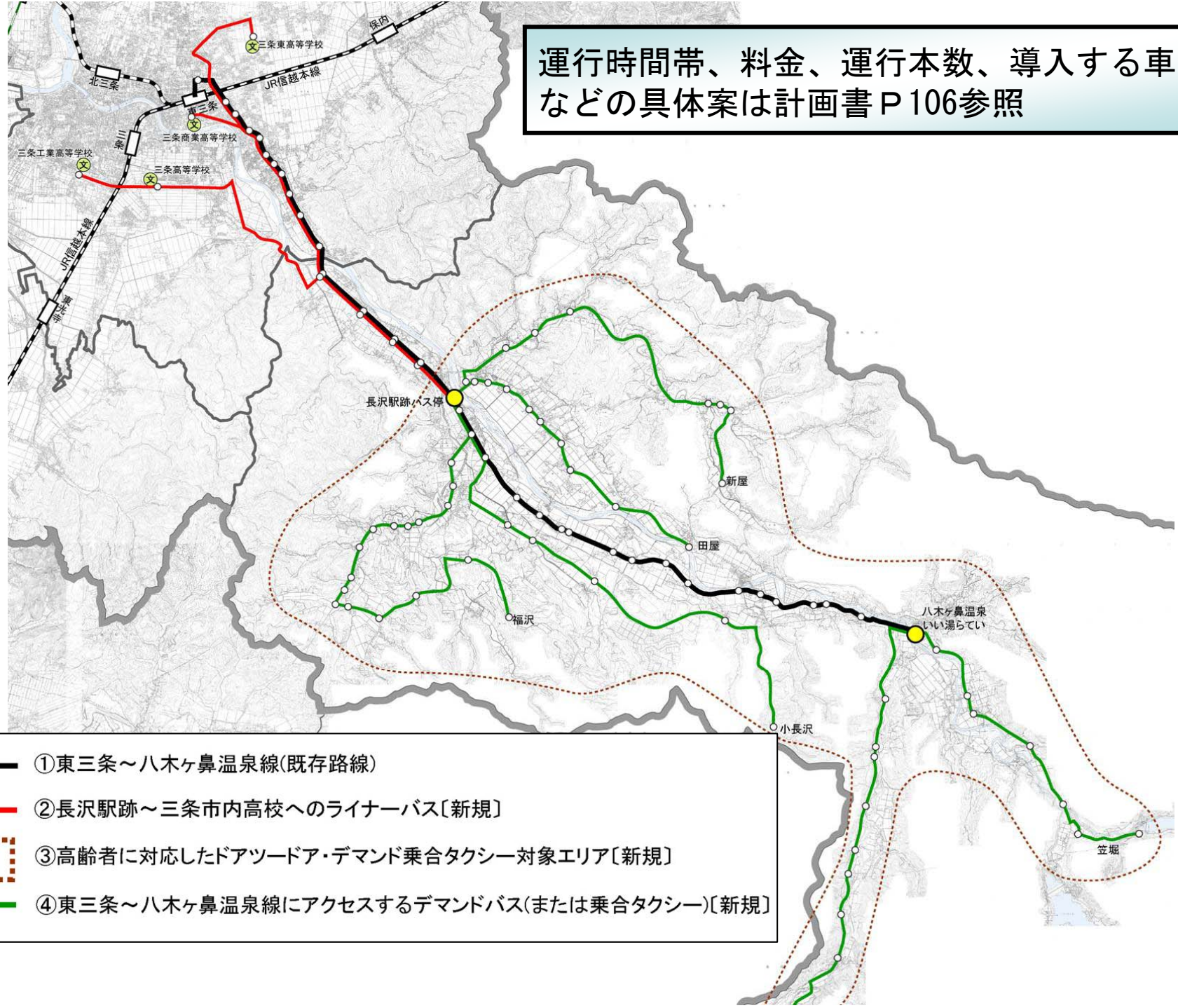
#### ○施策4－4

東三条～八木ヶ鼻温泉線にアクセスするデマンドバス

#### ○施策4－5

長沢駅跡～三条市内高校ライナーバス

運行時間帯、料金、運行本数、導入する車両  
などの具体案は計画書P106参照



- ① 東三条～八木ヶ鼻温泉線(既存路線)
- ② 長沢駅跡～三条市内高校へのライナーバス[新規]
- ③ 高齢者に対応したドアツードア・デマンド乗合タクシー対象エリア[新規]
- ④ 東三条～八木ヶ鼻温泉線にアクセスするデマンドバス(または乗合タクシー)[新規]



## 社会実験2 循環バス「ぐるっとさん」の利便性向上実験

### 【目的】

循環バス「ぐるっとさん」のA・Bコースを潜在需要への対応として、学生をターゲットにした運行時間帯、ルートを見直し、三条中心部の公共交通の利便性向上を図る。

### 【内容】

#### ○施策4－6

A・Bコースの運行時間帯およびルートの見直し  
燕三条駅経由の路線を新設  
定期券の導入



## 社会実験3 井栗地区における住民バス運行実験

### 【目的】

井栗地区において、地域住民が自ら考えバスを運行することで、地域内の小中学生や高齢者の生活交通を確保する。

### 【内容】

#### ○施策5－4

井栗地区における地域が主体となったコミュニティバスの運行

#### ○施策4－6

循環バス「ぐるっとさん」北コースの見直し検討



運行ルート(案)  
(循環バス「ぐるっとさん」  
の北コースバス停を活用)

A map of a rural area with a grid of roads. A yellow speech bubble is overlaid on the map, pointing towards the bottom right. Inside the speech bubble, the text reads: "運行ルート(案)" (Proposed Route), "(循環バス「ぐるっとさん」)" (Circulating Bus "Gurutto-san"), and "の北コースバス停を活用)" (Utilizing the North Course Bus Stop). On the left side of the map, there is a green circular icon with a white 'X' and the text "上林小学校" (Kametani Elementary School).

運行時間帯などの具体案は計画書  
P109参照  
※地域懇談会において詳細を検討

※地域懇談会において詳細を検討

### 〔調査の実施〕

- 調査種類：住民アンケート調査  
グループインタビュー調査 など
- 設問内容
  - ・移動実態(1日の行動パターン)
  - ・実験案に対する利用意向 など



- ・利用者の推計→採算性の検証
- ・導入（社会実験）前との効果比較
- ・社会実験具体案の見直し等

## 8.3.3(4) 社会実験計画のPR・広報活動 p110

### PR・広報活動（案）

| 媒体・手法   | 内 容                    |
|---------|------------------------|
| チラシ     | 実施地区での全世帯配布            |
| ポスター    | バス停、公共施設等に掲示           |
| インターネット | 三条市のHPの活用              |
| 電子メール   | 三条市のメルマガ配信を活用          |
| 広報誌     | 広報「さんじょう」              |
| 無料参加の実施 | 社会実験当初は利用料を無料 ⇒ 気軽に実体験 |



## 8.3.3(5) 社会実験の評価 p105

### 実験の評価に向けた検証内容（案）

| 検証内容 |            | 検証項目                 | 把握に必要な調査                      |
|------|------------|----------------------|-------------------------------|
| 事業効果 | 社会参加の機会の増加 | 外出回数                 | 利用者アンケート調査                    |
|      | 送迎負担の軽減    | 家族の送迎回数              | 住民アンケート調査                     |
|      | バスの定時性向上   | バスの旅行速度              | バスの旅行速度調査                     |
|      | バス待ち時間の減少  | 利用者のバス待ち時間           | 利用者アンケート調査                    |
|      | 健康増進       | 利用者の意見               | 利用者アンケート調査                    |
|      | 地球環境の保全    | マイカー利用者数<br>二酸化酸素排出量 | 利用者アンケート調査<br>交通量調査<br>旅行速度調査 |
| 採算性  |            | 利用者数<br>収入と支出のバランス   | 利用者数調査                        |

## 8.3.3(6) 検討実施体制 p112

〇〇地区 地域公共交通協議会 分科会

